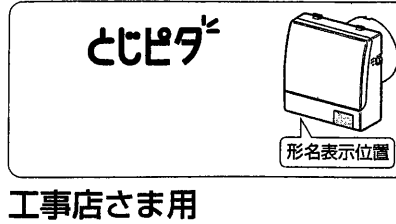


三菱パイプ用ファン〈人感センサー付〉
形名
V-12PSEAD4 居室(トイレ・洗面所用)



取付工事説明書

工事店さま用

取付工事終了後は、必ずお客さまにこの説明書をお渡しください。

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 電気工事は電気工事店に依頼してください。
- 接続パイプには市販の塩化ビニル管(薄肉管 VU)をご用意ください。
- ※鋼板管、塩化ビニル管(厚肉管 VP)には取付けできません。
- 外風の強い場所(地域・高層建築物)ではシャッターがばたつくことがありますので耐外風高性能フードを取付けることをおすすめします。

1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

水ぬれ禁止 ●製品の水につけたり、水をかけたりしない
ショートや感電の原因。

分解禁止 ●分解・改造はしない
火災・感電・けがの原因。

指示に従う ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に換気扇を取付ける場合は、換気扇とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取付ける
漏電した場合、発火の原因。
●交流 100V を使用する
直流や交流 200V を使用すると火災や故障の原因。

注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止 ●直接炎のあたる場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない
火災の原因。

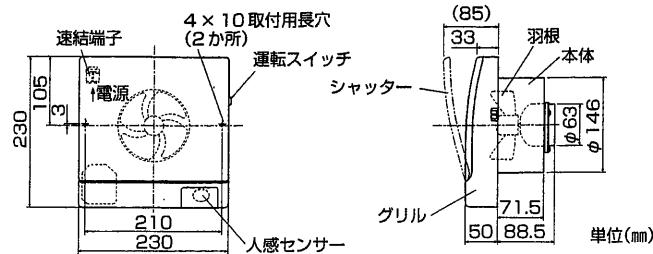
浴室取付禁止 ●浴室など湿気の多い場所には取付けない
感電および故障の原因。

指示に従う ●本体取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
落下によるけがの原因。
●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因。
●電気工事は必ず電気工事店に依頼する
感電の原因。
●取付けの際は手袋を着用する
けがの原因。
●部品の取付けは確実に
落下によるけがの原因。

- お願い**
- 高温(40℃以上)になるところに取付けしないでください。故障の原因になります。
 - 直接屋外に排気する場合、雨水浸入防止のためシステム部材(屋外フードなど)を取付けてください。
 - アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。振動の原因になります。
 - 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
 - スプレーをかけないでください。グリルが破損する原因になります。

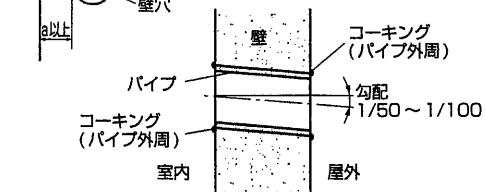
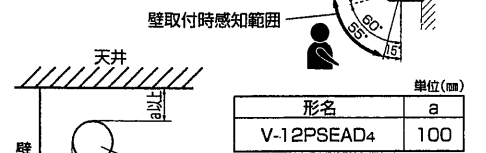
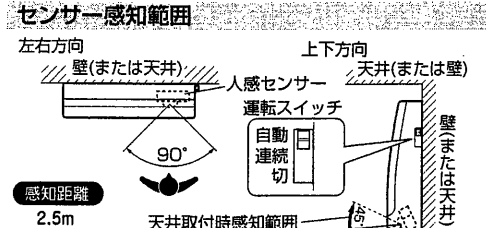
- 下記環境下で使用しますと、本体から結露水が滴下することがあります。
屋外温度-5℃以下で室内温度15~25℃・室内湿度45%RH以上
- システム部材(屋外フードなど)は壁厚にあったものを選んでください。
壁厚により取付けられないものがあります。
- 天井板および壁取付面は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 換気扇に直射日光などが当たる場所には取付けしないでください。誤作動の原因になります。
- 間仕切など障害物のあるところに取付けしないでください。

2. 各部のなまえと外形寸法図

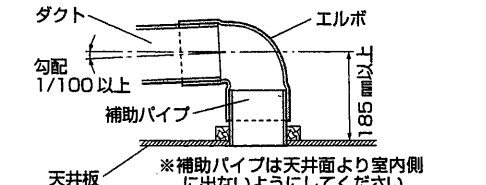
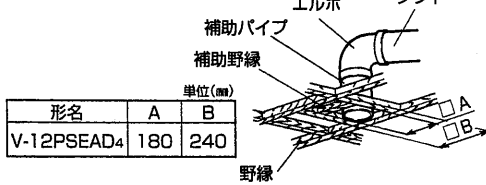


- 付属部品**
- 木ネジ.....2本
(本体裏側にはめ込んでいます)
- 接続パイプ径**
- 塩化ビニル管...VU
(呼び径φ150)

3. 取付方法



形名	適用パイプ
V-12PSEAD4	塩化ビニル管(VU)



1. 取付前の準備

人の動きを感知するところに取付ける

壁取付けの場合

- 壁穴へのパイプの固定**
1. 取付け場所を決めて壁穴を開ける。
●パイプは左表のもので施工してください。
壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
●必ず床面より1800mm以上のところに取付けてください。
 2. 壁穴にパイプを確実に固定する。
パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
●パイプは屋外側に下り勾配をつけ固定してください。(下り勾配をつけない場合、室内に雨水が滴下するおそれがあります)
●固定が不十分ですと振動したり異常音を発生する原因になります。
●壁内への水浸入を防ぐためパイプは室内壁面まで差し込みます。

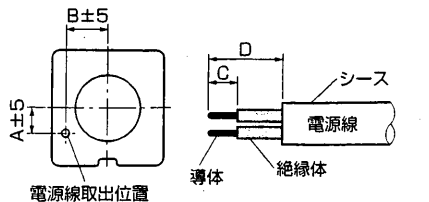
天井取付けの場合

- 野縁工事とダクト配管**
1. 左図のように野縁工事をし、ダクト配管をする。
 2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板を貼る。
 3. エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。
●パイプは屋外に向け1/100以上の下り勾配をつけてください。
(下り勾配をつけない場合、室内に雨水が滴下するおそれがあります)

2. 電気工事

電源の接続・配線工事などは、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。



単位 (mm)

形名	A	B	C	D
V-12PSEAD4	37	97	14	30

警告

- 交流 100V を使用する
直流や交流 200V を使用すると感電の原因。

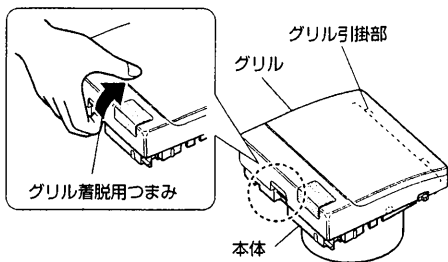
速結端子タイプの場合

1. 電源線を左図の位置から室内に引き込む。
電源線は VVF φ 1.6、2 芯をご使用ください。
2. 電源線の先端を左表のように皮むきする。

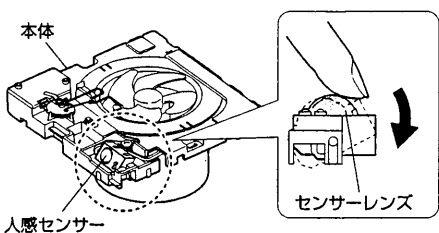
注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因。
- 電気工事は必ず電気工事店に依頼する
感電の原因。

3. 本体の取付け (壁取付け・天井取付けとも同様の取付け方です)



1. グリル着脱用つまみを引き、グリルを斜めに持ち上げて本体上側のグリル引掛部からはずす。



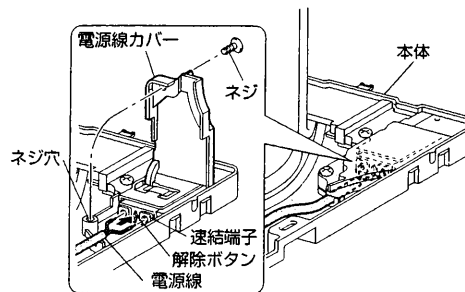
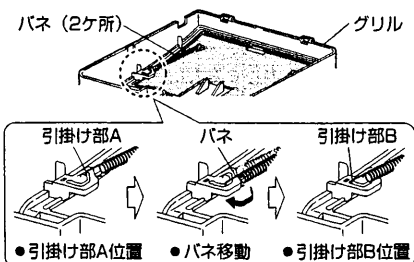
2. 天井取付けの場合

センサーレンズの向きを変える

- 本体を天井に取付ける場合はセンサーレンズが水平になるよう手でセンサーレンズの箱の上側を押して方向を変える。(センサーレンズの向きは、工場出荷時に壁取付け時感知範囲に設定してあります)

パネの位置を変える

- 引掛け位置を変えてシャッター閉じ力を小さくします。
- パネを穴からはずさず引掛け部 A から引掛け部 B に移動させます。(左右 2ヶ所)

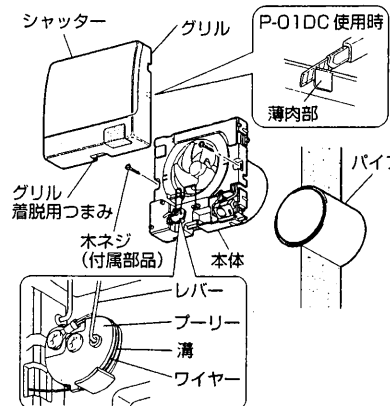


3. 電源線を速結端子に差し込む。

- 左図のように、ネジ (1 本) をはすして電源線カバーを開き、電源線を速結端子に差し込んでください。接続後電源線カバーを閉じ、ネジで固定してください。

お願い

- 電源線の皮むき部分は確実に速結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
- 電源線を軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源線は本体面に密着させて配線してください。
- ネジ穴が破損する原因となりますので、ネジを締めすぎないでください。



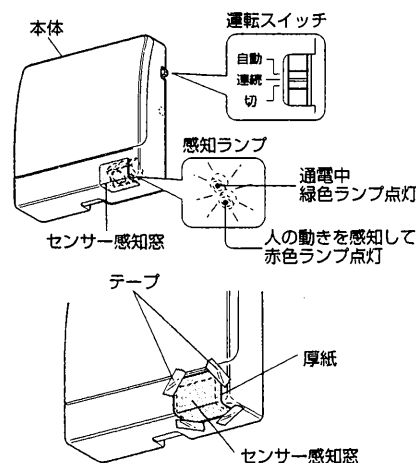
4. 本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジで本体を固定する。

5. グリルを本体に取付ける。

- 電源プラグ (別売部品: ダイレクトコンセントプラグ変換コード P-01DC) を使用して左右から出す場合は薄肉部を切り欠きます。
- グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。
- グリル引掛部に引掛け、グリル着脱用つまみを本体に引っ掛ける。
- ワイヤーが図のとおり、プーリーの溝に巻き付けられているか確認してください。

6. 以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。

4. 試運転



取付工事が終わりましたら、下記の要領にて試運転を行ってください。

1. 運転スイッチを「切」の位置にする。
2. 運転スイッチを「自動」にすると通電ランプ (緑) が点灯し、約 1 分間強制運転する。
その後センサー (自動) 運転に切り換わるので、センサーが人を感知するよう手などを動かすと感知ランプが (赤色) が人の動きに合わせて点滅し約 3 秒後に換気扇が回る。
3. その後、厚紙を用意して図のようにセンサー感知窓をテープなどで止めてふさぐと約 11 分間 (± 30%) 運転した後停止する。
4. 厚紙をはずしてセンサーが人を感知すると、再び運転を開始する。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町 1 番 3 号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。